

令和3年度 学校経営計画書

学校番号	78	学校名	静岡県立浜松工業高等学校（全日制）	校長名	武田 知己
------	----	-----	-------------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

校訓「質実勤勉」を柱に、人間性豊かにして、勤労を尊び、知性と創造性に富む工業技術者を育成する。これを実現するために次の三つの保証を目指す。

ア 学力の保証

これからの工業技術者は、今まで以上に、創造力や課題解決能力が求められる。そのためには幅広い学力の育成が必要である。

イ 工業技術力の保証

地域を支える工業技術者を育成するためには、経営を考えた工夫と改善のできる実践的技術者の育成が重要である。

ウ 人間力の保証

I C T時代のものづくり社会においては、人間性豊かで、社会性があり、主体的な行動のできる人材が求められる。

(2) 目標具現化の柱

ア 時代の変化に対応した魅力ある工業教育を推進する。

イ 幅広い学力の習得を図る。

ウ 生徒を前面に出した教育活動を推進する。

エ 広報活動の一層の充実を図る。

オ 生き方教育を推進（進路目標の早期決定）する。

カ 基本的生活習慣の育成を図る。

キ 施設設備の充実と働きやすい職場環境の整備を図る。

ク 教職員の資質向上を図る。

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	Society5.0で実現する社会を支える技術者の育成に向け、確かな技術力と分野横断的な応用力を身につける。	学科を越えた教育資源の活用を図る。	学科間での授業連携を実施	科長会
		工業科と普通科を越えた教育資源の活用を図る。	課題研究・情報技術基礎での具体的な実践	S S H推進室
		多様な入試に対応できる体制を作る。	映像授業、英語外部検定の試験の受講を推進	進学対策室
		S S Hの取組を通して、生徒の知的好奇心をあおる。	夏季休業中に外部（中学生・保護者等）に向けて課題研究テーマ発表会を実施	S S H推進室
イ	基礎基本の定着を図るとともに、知的好奇心の育成を図る。	成績が振るわない生徒に対し、日頃から基礎基本を定着させるための指導を徹底する。	「先生の説明はわかりやすい」「質問に丁寧に答えてくれる」と回答する生徒90%以上	教務課
		学校図書室の有効活用を図る。	年間平均貸出冊数2.0冊/人以上	図書課

様式第1号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ウ	生徒会を中心に生徒主体の活動を拡大する。	生徒会が企画運営し、学校行事を行う。	生徒会が企画した事業の実施 行事における生徒の満足度80%以上	生徒課
エ	学校ホームページを有効活用し、効果的な広報活動を実施する。	ホームページをリニューアルし、魅力を発信する記事を毎日掲載する。	1日の平均訪問回数800回以上	各学科・各課・各学年
オ	各学年と連携した各学年の緻密な生き方指導の計画を策定する。	進路計画に基づき、個々の生徒の進路希望状況に応じた進路指導を行う。	就職内定率100% 国公立大学合格者25人以上	進路課
カ	基本的な生活習慣を保証するための安全かつ安心な学校づくりを推進する。	毎月の自転車街頭指導の場所を拡大し、危険個所での指導を徹底する。	重大な交通事故ゼロ	生徒課
		気持ちのいいあいさつができる生徒を育成する。	「あいさつがきちんとできる」と回答する生徒85%以上	
		不測の事態に対応できるよう防災体制を整える。	防災訓練を年間3回実施	総務課
		新型コロナウイルス感染症対策を含めた、健康と環境衛生への高い意識を涵養するための情報発信を行う。	保健室だよりの発行 年間10回以上	保健課
		生徒の心の健康状態を的確に把握し、援助が必要な生徒に対して早期に対応する。	各相談室職員による面談 年間10回以上	教育相談室
キ	教育活動が円滑に展開できるよう教育環境・職場環境の整備を図る。	情報ネットワーク環境を維持管理する。	学校開校日のネットワーク稼働率100%	情報管理課
		生徒が利用しやすい食堂・購買の整備を行う。	全員給食に関する肯定意見80%以上	厚生課
		優先順位に基づいた学校の施設の整備を図る。	学校の施設（備品・機械）について「満足できる」と回答する生徒80%以上	事務室
		働きやすい職場環境を目指し、職務内容・職務分担の見直しを行う。	夏季休暇100%取得 年次有給休暇の各個人前年度以上取得	運営委員会
ク	生徒の意欲を引き出す指導方法を確立する。	授業公開、生徒による授業アンケートを通して授業改善を行う。	授業公開での相互授業参観2回以上 生徒授業アンケート2回以上	研修課